

釧路腎友会ニュース

№ / 6 54.1.1

釧路地方腎友会発行

釧路市幣舞町4番21号

市立釧路総合病院・透析室内



53年をふりかえって

皆さん、明ましておめでとございます。

昨年中は、腎友会また難病連活動に多大な御協力を頂き大変ありがとうございました。

昨年/年間をふりかえって、腎友会の活動状況を記してみました。

1月末に、釧路から始めて国会請願活動に参加(上田)しました。54年分の国会請願署名も1/2末に終了し、皆さんの協力によりまして大きな成果を上げる事が出来ました。

3月には、難病連全国患者・家族集会に向けての全道一斉街頭署名を行い、10月にも北海道難病センター建設のための署名活動も実施し、協力下さいました皆さんには大変御苦労様でした。

52年末から、人工腎臓についての知識を一般市民に理解してもらおうと「腎友」の発行を計画し、内容、資金調達について種々検討し、内容は腎友会で編集委員を決め、その人選にまかせる事にしました。一番重要な資金については顧問先生の強力な活躍により、釧路市と釧路支庁から補助金の交付を受けられる事になり、また、不足分については顧問先生方が、市内の有力者から寄附を受けながら10月には1500部を完成し、年末には関係各方面に発送、手渡しを終了致しました。これら補助金を出してくれたのも行政側としても腎臓病の恐ろしさを一般市民に認識してほしいと考えているからだと思えます。

会報というか「釧路腎友会ニュース」の発行も1/2月末で15号を数える事になりました。内容については、報告・通知を兼ねて作成しましたので、今年は皆さんの近況報告とか詩・俳句等の作品などの原稿を頂けるよう協力下さい。

会員相互の親睦を計るための行事も、1月の新年会で始まり、6月の山探取り、8月には川湯に一泊旅行、そして10月には道東3地区(帯広・北見・釧路)合同による交流会を阿寒で行い、「生きている」事の喜びを参加者全員で感じたのではないかと思います。今年は釧路地方腎友会会員全員が、無料で、体の不自由な人も、皆さんで助け合いながら、協力し合い実施したいと考えています。

リクリエーションの交通機関も、釧路市の御配慮により福祉バスを使用出来るようになった。また、会合等の会場も福祉会館が無料で使用出来るようになり、身障者会館と2ヶ所が無料で利用出来るようになりました。

1/1月始めには、腎友会会員としては初めての、腎友会会員と釧路市長ほか関係職員、腎友会顧問先生との話し合いの席がもたれ、皆さんの活発な体験や意見の発言により行政側の皆さんも人工腎臓の苦しみの一端を分かって頂いたものと思います。今年もぜひ同じような席をつくり、行政に訴えて行きたいと思えます。

通院交通費の問題については、市内患者については福祉ハイヤーのチケットが交付されるようになりましたが、この問題は、市内の人より郡部の人の方が大変なものであり、昨年末に道に対しても請願書を提出しましたが、まだ道段階では実現不可能のようです。今年も道に対しては道腎協を通じて活動を行い、地元では、当該町村の患者さんが職員さんの協力を得ながら、町村単位に請活動を展開しなければ実現不可能と考えますので、郡部から来られている患者さんはそれぞれ良いアイデアを考え出して下さい。これには役員も微力ではありますが、協力しますので宜しく御願い申し上げます。

市立病院に自家用車で通院している人は、駐車場がせまく、苦勞していたと思いますが、1/1月から駐車可(道路に)の許可をもらったので、今後は多少楽になつた事でしょう。

難病連会員が個々に活動するのではなく、釧路地区会員一同が団結して諸行動を起すための難病連釧路地区連が、1/2月10日の準備会発足より始まり、今年6月の結成大会に向け動き出す事になりました。同じ難病で苦しむ者同士が助け合い、励まし合いながら、全体の福祉の向上にむけて進まなければなりません。結成大会迄に種々とお手伝い願わなければならぬと思えますので宜しく御願い申し上げます。

まだ、この他に年賀状印刷の取次、ジャンプの販売、等々の活動を実施して来ました。

以上のように書き表わしてみると、53年も一定の成果を収めていると思えます。会員一人一人としては、それぞれあると思えますが、腎友会は会員全体のもので、全体としては一定の前進があつたと思えます。

53年は内外共に非常に厳しい年でありました。不況の波がおしよせ、社会復帰をしたくても、健康人でさえ、ままならないのに、病人で、まして1週間何回も病院通いをしているとあつては、なおさら厳しかつたと思えます。この54年「ヒツジ年」は、何とか良い年でありませう、何事にも「体当り」して生きている喜びを、皆さんが分かち合えるよう期待しております。

釧路腎友会会長 上田 記

北見オホーツク会会長の中原弘昌氏が昨年末の1/2月22日に亡くされました。

阿寒での交流会にも参加されており、釧路でも顔見知りの方もおり 釧路腎友会として弔電を打つておきました。皆様と共に御冥福を祈ります。